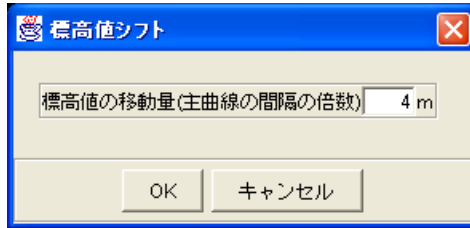


新メニュー[一括処理]に[標高値シフト]を追加しました。
 以下は、操作説明書からの抜粋です。

標高値シフト

3次元の要素のZ値と一定値上下させます。対象はZ値が-999.0より高い3次元の要素です。TINは対象外です。



【標高値の移動量(主曲線の間隔の倍数)】Z値を上下させる移動量を指定します。

等高線については、変更された標高値に従って計曲線と主曲線の分類コードを再設定します。元が凹地の場合、凹地の分類コードを設定します。

(2006) test.dtm 標高値シフト 分類コード: 7102(等高線(主曲線)) [3次元要素]	(-50025.33,-16467.13,122.00)
(2007) test.dtm 標高値シフト 分類コード: 7102(等高線(主曲線)) [3次元要素]	(-50057.79,-16427.75,122.00)
(2008) test.dtm 標高値シフト 分類コード: 7102(等高線(主曲線)) [3次元要素]	(-50063.91,-16438.61,122.00)
(2009) test.dtm 標高値シフト 分類コード: 7101(等高線(計曲線)) [3次元要素]	(-50051.15,-16475.68,120.00) 分類コード変更 7102 ⇒ 7101
(2010) test.dtm 標高値シフト 分類コード: 7101(等高線(計曲線)) [3次元要素]	(-50111.19,-16428.08,120.00) 分類コード変更 7102 ⇒ 7101
(2004) test.dtm 標高値シフト 分類コード: 7102(等高線(主曲線)) [3次元要素]	(-50059.18,-16413.88,118.88)

ガイド レポート チェックリスト 確認リスト 地形断面図作成支援

分類コード 8173(基準点等、図化機測定標高点、等高線数値)の注記については、数値の文字列も変更します。

(3977) test.dtm 標高値シフト 分類コード: 8173(基準点等、図化機測定標高点、等高線数値) [3次元要素]	(-50038.79,-16242.24) 注記変更 180 ⇒ 184
(3978) test.dtm 標高値シフト 分類コード: 8173(基準点等、図化機測定標高点、等高線数値) [3次元要素]	(-50133.23,-16804.23) 注記変更 170 ⇒ 174
(3979) test.dtm 標高値シフト 分類コード: 8173(基準点等、図化機測定標高点、等高線数値) [3次元要素]	(-50318.00,-16626.72) 注記変更 130 ⇒ 134
(3980) test.dtm 標高値シフト 分類コード: 8173(基準点等、図化機測定標高点、等高線数値) [3次元要素]	(-50947.35,-17870.34) 注記変更 172.6 ⇒ 176.6
(3981) test.dtm 標高値シフト 分類コード: 8173(基準点等、図化機測定標高点、等高線数値) [3次元要素]	(-50953.33,-17982.82) 注記変更 177.5 ⇒ 181.5
(3982) test.dtm 標高値シフト 分類コード: 8173(基準点等、図化機測定標高点、等高線数値) [3次元要素]	(-50841.91,-17973.47) 注記変更 193.4 ⇒ 197.4
(3983) test.dtm 標高値シフト 分類コード: 8173(基準点等、図化機測定標高点、等高線数値) [3次元要素]	(-50883.34,-17983.70) 注記変更 184.2 ⇒ 188.2

ガイド レポート チェックリスト 確認リスト 地形断面図作成支援